

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスエンカレッジ			
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年9月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	令和7年9月20日		～	令和7年9月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月2日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所内の構造化を行っています。 視覚支援を沢山、取り入れています。	スケジュールの活用（将来、働く為に仕事の段取り、休みの過ごし方を自分で考える事が出来る為）を行っています。 口頭指示ではなく、トラジッションカードやリマインダーを使用し、見て自分で動ける・SOSを自分から出せるようになる為の練習を行っています。気持ちを聞きだす債には、コミック会話も活用しています。	視覚支援の活用法についてレベルアップできるよう、引き続き研修などを行っています。
2	最終的には、社会に出て自立する事を目標として、段階的に年齢に応じた療育を行っています。	1人1人の能力や特性に応じて、必要なプログラムのご提案や、それに基づいた個別支援計画の作成を行っています。 社会に出て通用するやり方を、教えていけるように常々考えて支援を行っています。	
3	保育所等訪問支援との連携が図れます。	お子さんの通園・通学先にて困りごとが生じた際に、保育所等訪問支援が事業所内にある事で、いつも関わっているスタッフが、通園・通学先に行きサポートを行ったり、困りごとを把握して療育に活かす事も出来ます。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ビルの2階に事業所があり、バリアフリーではありません。	ビルの2階（エレベーターなし）に事業所がある為、車椅子等での利用は難しい状況です。	事業所移転に向けて、今より良い場所を探しています。
2	親御さんの送迎の負担が大きいです。	理由としては、学校から帰ってきたお子さんの様子を見て、療育を受ける事が出来る状態か判断して頂きたい事や、今から療育で頑張るお子さんを励まし、また車内での様子を見る・車内でのルールを守るという事を、教えて欲しい等の意図があり、送迎サービスは基本的には行っていない。	親御さんの急な体調不良や急用等で、送迎できないやむを得ない事情がある時は、送迎の手配が出来ないか検討をしています。（検討の結果、送迎できる時と出来ない時があります）夏休みなどの長期休みには、支援内容に応じて送迎出来る日は支援を行うなど、出来るだけ親御さんの負担を減らす事が出来るよう計画しています。
3			